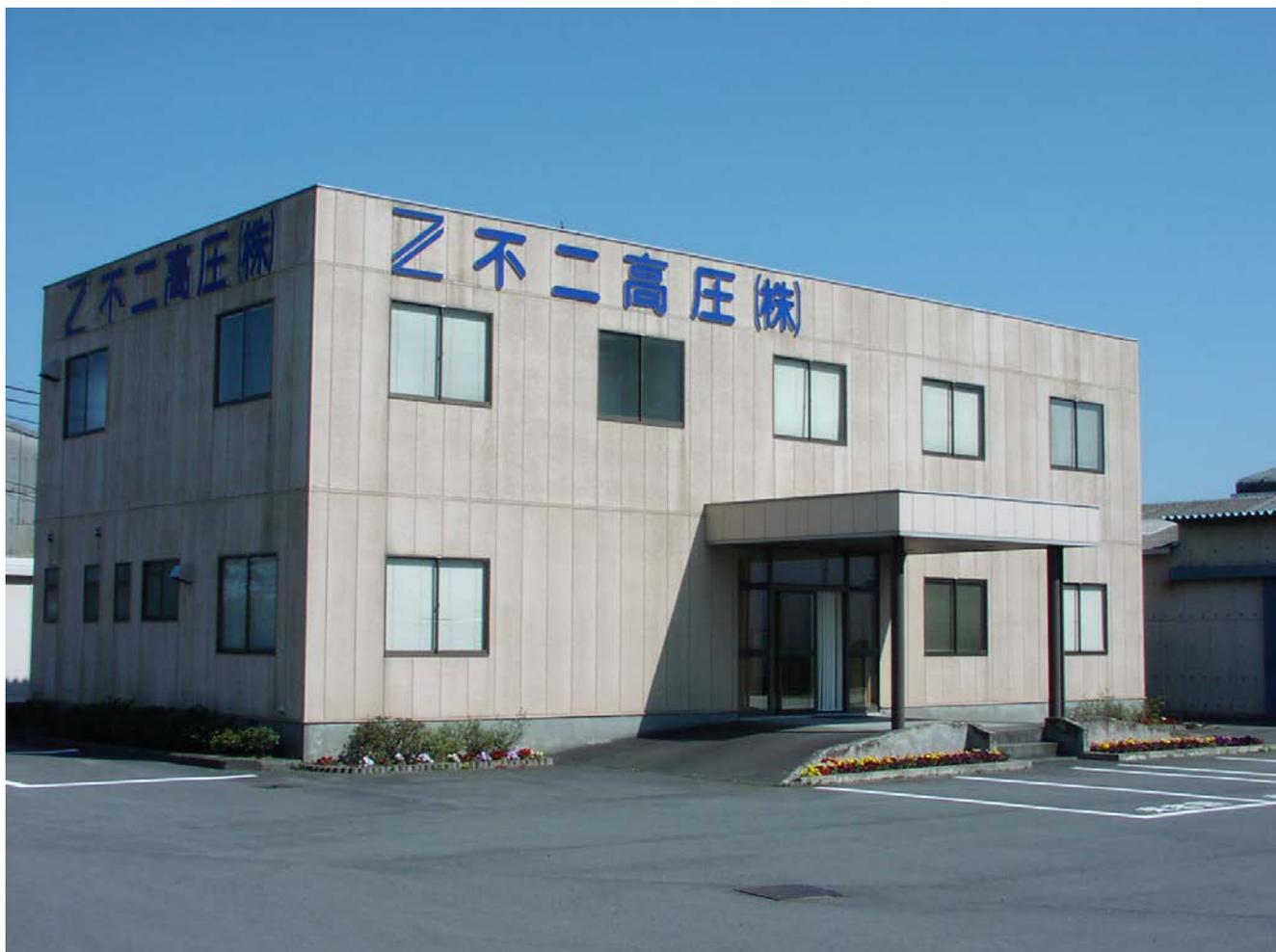


エコアクション21

環境活動レポート



平成26年10月15日

・・・環境問題を皆で理解し広めよう・・・

不二高圧株式会社

エコアクション21 に取り組んで

エコアクション21の勉強を始めたのが、2006年(平成18年)でした。右も左も分からぬまま、2006年度を基準年とし、2007年度に登録申請・認証を得る事が出来ました。(当時、2004年度まで遡ってデータを集めました。)実際の取り組みは、2007年度からになります。結果的にはほとんどの項目が、容器検査工場の稼働状況に比例し、残念ながら明らかな削減はみられませんでした。

しかし 2009年に工場の塗装設備の変更により、有機溶剤の削減や、事務所を中心とした上水の削減、2012年には事務所蛍光灯のLED化など、大きな成果を得ることもできました。

今回は、①電力 ②ガソリン等の化石燃料 ③水 ⑤特定化学物質の 4項目に、車輛の燃費を加えてグラフにしてみました。

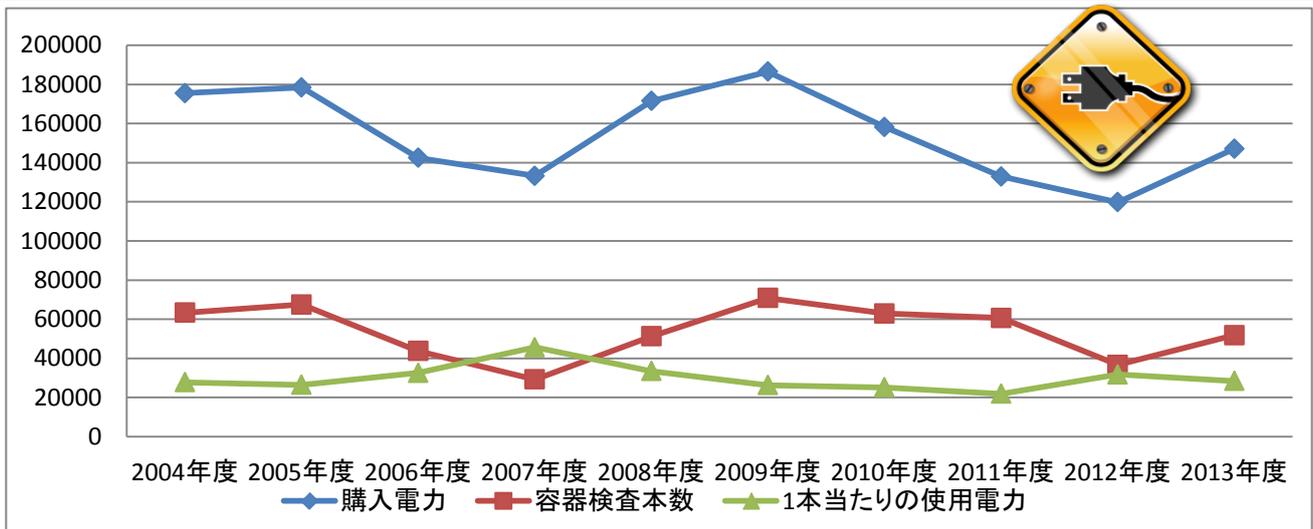
* 19年度登録時は3ヶ月分のデータで申請、その後1年分で中間審査を受けた為19年度のレポートは2冊あります。

			第1期			第2期			今回
平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
取り組み前		研修・*登録・中間		更新	中間	更新	中間	更新	中間

① 電力消費量

購入電力	高圧電力	KWh							
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
175,528	178,441	142,426	133,278	171,507	186,493	158,180	132,893	119,820	147,122

容器検査	本								
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
63,300	67,458	43,723	29,229	51,259	70,856	62,935	60,622	36,686	51,830
容器検査	1本当たりの使用電力	*グラフ表示用に 単位を変えてあります。							
27730	26452	32575	45598	33459	26320	25134	21922	31793	28385



購入電力のかなりの部分を 容器検査工場で使用していますので、検査本数に比例して使用電力も増減していますが、検査本数が多いときの方が、効率的に使用されていることもわかりました。今後は検査本数に合わせて、工場の稼働時間を工夫するなど、電力の削減に努めます。

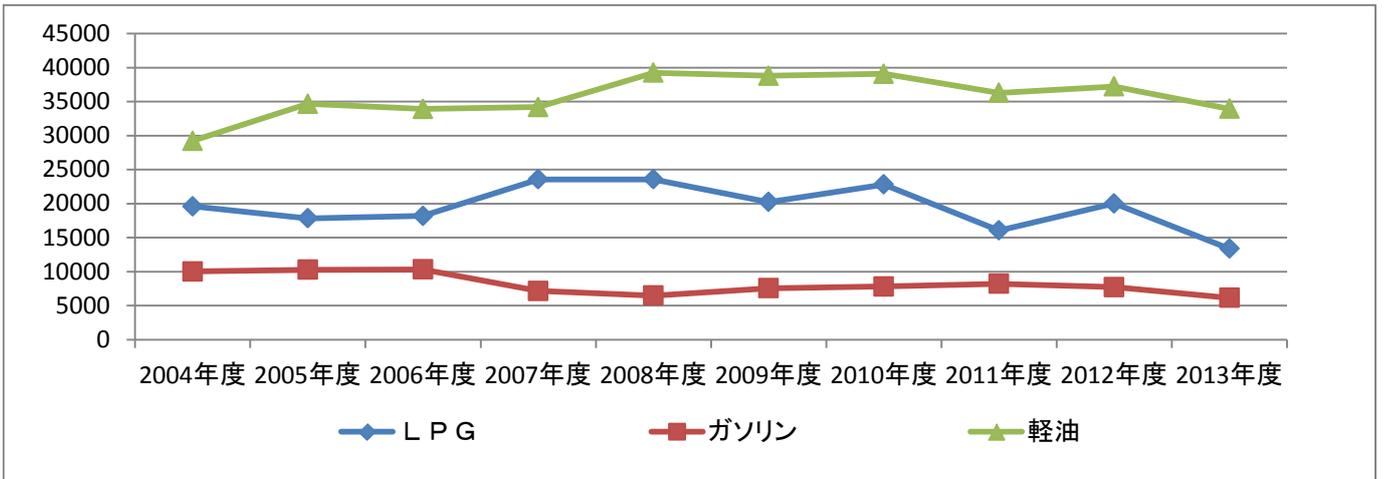
エコアクションに取り組む前(2003年)に容器検査の過程で発生する残ガスを利用した、LPG発電機2台を導入、当時、購入電力が 約20%削減されました。今後もLPG発電機の更新・増設を検討し、購入電力の削減に努めます。

エコアクション21 に取り組んで

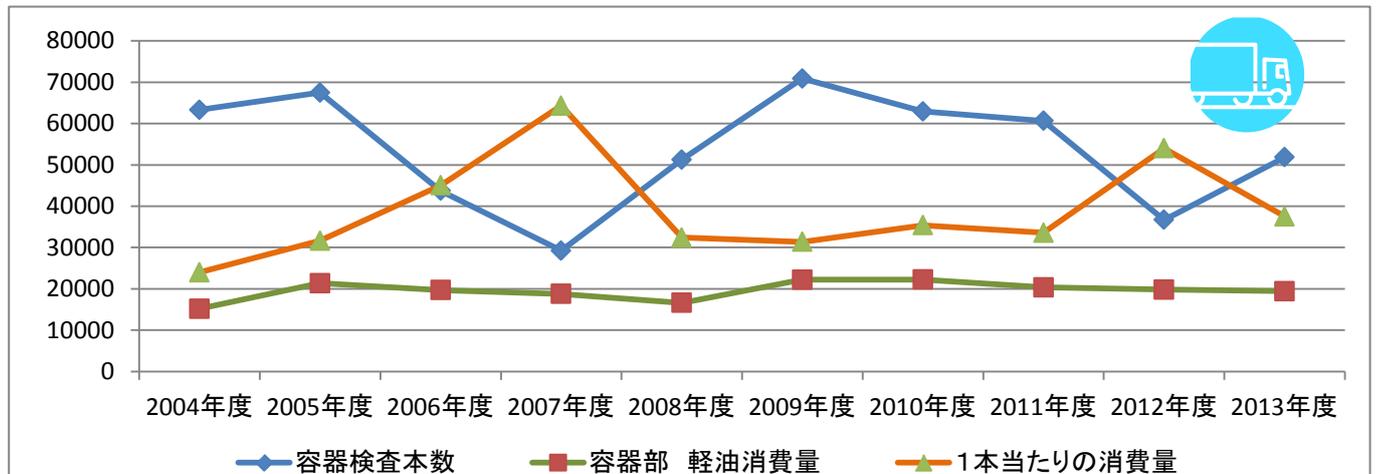
② 化石燃料 使用量



化石燃料	LPG	0.1Kg	*グラフ表示用に 単位を変えてあります。								
	ガソリン	ℓ	(欄外 容器検査部 軽油)								
	軽油	ℓ	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
	19,588	17,824	18,184	23,568	23,551	20,218	22,813	16,054	20,017	13,368	
	10,004	10,277	10,329	7,143	6,462	7,552	7,811	8,216	7,725	6,137	
	29,224	34,679	33,909	34,193	39,241	38,806	39,088	36,278	37,228	33,938	
	15,188	21,349	19,694	18,793	16,617	22,218	22,269	20,355	19,816	19,439	



容器検査	本	*グラフ表示用に 単位を変えてあります。							
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
63,300	67,458	43,723	29,229	51,259	70,856	62,935	60,622	36,686	51,830
容器検査	1本当たりの使用軽油	*グラフ表示用に 単位を変えてあります。							
23,993	31,648	45,043	64,295	32,418	31,356	35,384	33,577	54,016	37,505



燃料使用量は毎年ほぼ一定ですが、検査本数が多いときの方が、やはり効率的に使用されていることもわかりました。今後は検査本数に合わせて、配送回数・使用車両数を工夫するなど、燃料の削減により努めます。

エコアクション21 に取り組んで

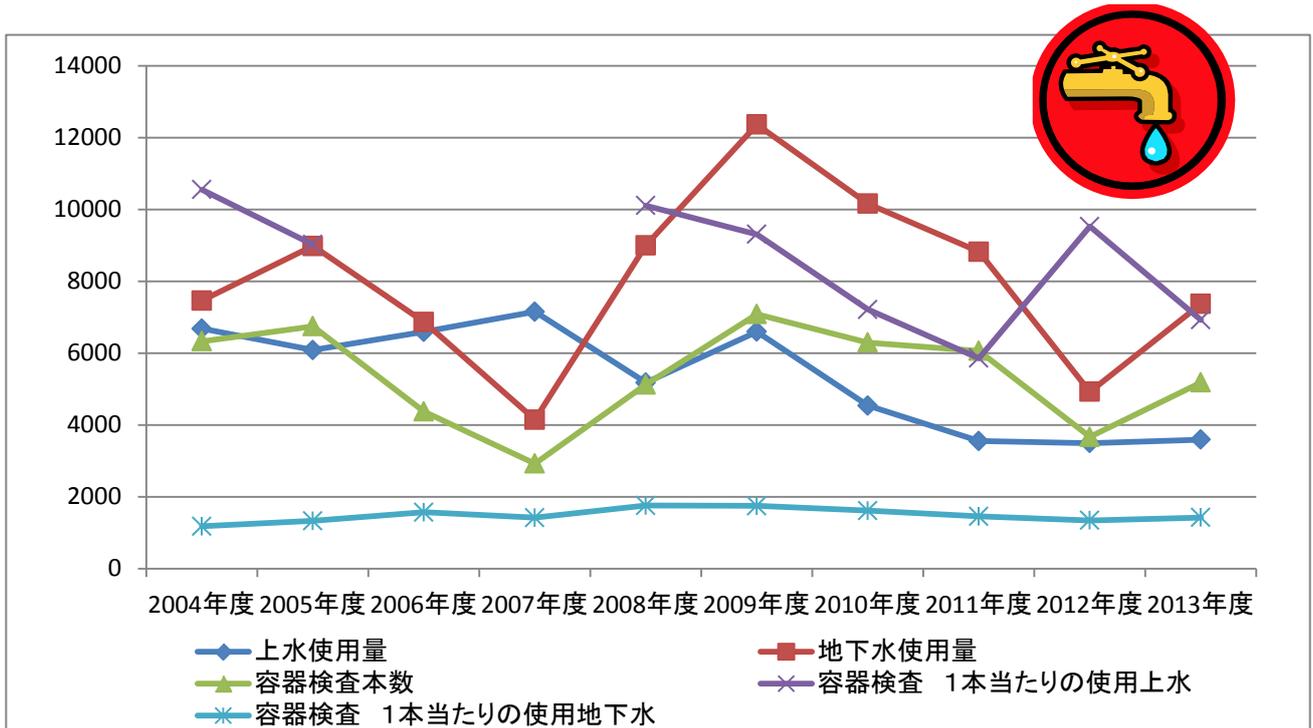
③ 水資源 使用量

水資源 投入量	上水	0.1m ³	*グラフ表示用に 単位を変えてあります。									
	地下水	m ³	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
			6,680	6,085	6,590	7,150	5,180	6,595	4,540	3,550	3,495	3,590
			7,464	8,980	6,866	4,145	8,999	12,364	10,159	8,820	4,926	7,370

容器検査	10本	*グラフ表示用に 単位を変えてあります。								
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
6,330	6,746	4,372	2,923	5,126	7,086	6,294	6,062	3,669	5,183	

容器検査	1本当たりの使用上水	*グラフ表示用に 単位を変えてあります。								
10,553	9,020	漏水があったと思えるので グラフから外しました	10,106	9,308	7,214	5,856	9,526	6,926		

容器検査	1本当たりの使用地下水	*グラフ表示用に 単位を変えてあります。								
1,179	1,331	1,570	1,418	1,756	1,745	1,614	1,455	1,343	1,422	



地下水のかなりの部分を 容器検査工場で使用していますので、検査本数に比例して使用量も増減しています。2011年に耐圧設備を更新し、効率化により、地下水使用量は減少する傾向です。

上水は確実に減少しています。2009年には、記録を取ることで漏水に気が付き、修理することで削減ができました。2010年度には、事務所・休憩室のトイレを節水型に変更しかなりの効果がありました。取り組み開始時の2006年度と2012年度を比べると、約47%の削減となっています。

エコアクション21 に取り組んで

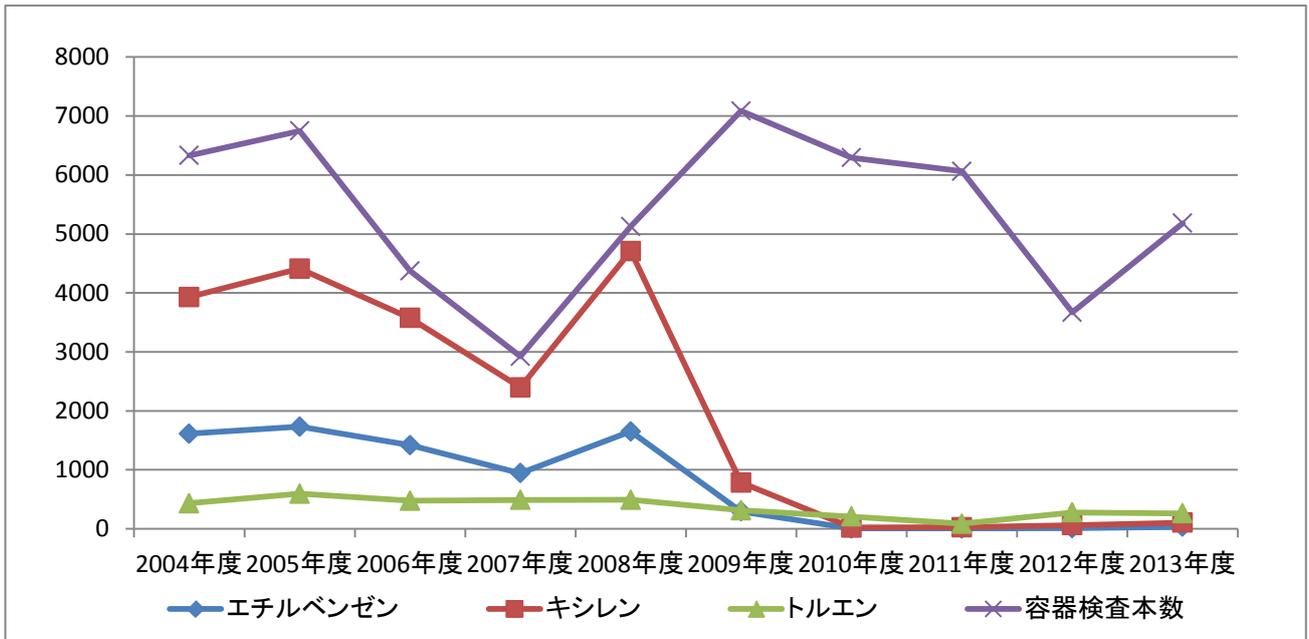
⑤ 特定化学物質等の使用量



指定 化学物 質	エチルベンゼン	ℓ
	キシレン	ℓ
	トルエン	ℓ

2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
1614	1733	1417	944	1652	294	5	4	10	34
3929	4412	3574	2399	4709	784	22	26	62	106
432	594	475	490	492	315	208	87	279	264

容器検査	10本		*グラフ表示用に 単位を変えてあります。						
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
6330	6746	4372	2923	5126	7086	6294	6062	3669	5183



2009年に 容器の塗装を 有機溶剤から粉体塗装に変えたことにより、化学物質の使用を劇的に減らすことができました。2013年エチルベンゼンが特定物質に指定されました。今後はエチルベンゼンを中心とした化学物質の削減と、適正管理に努めます。

エコアクション21 に 取り組んで

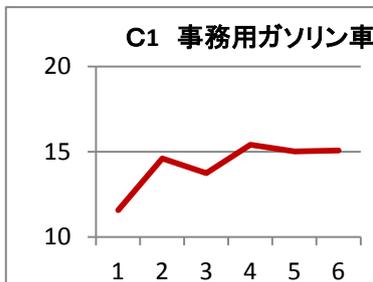
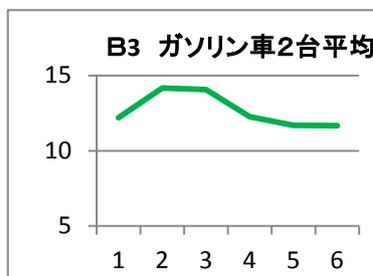
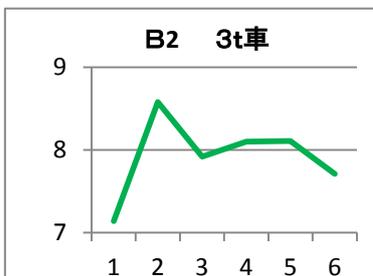
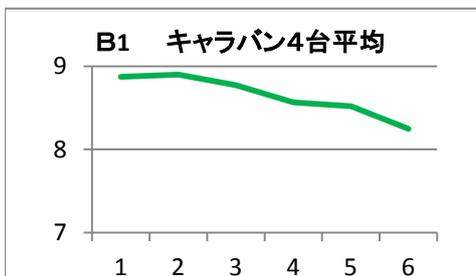
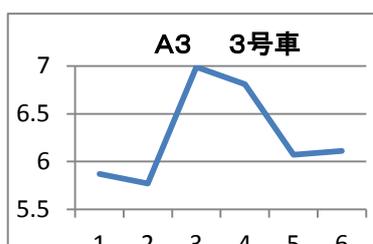
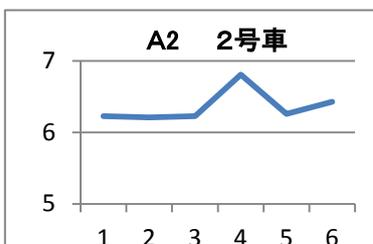
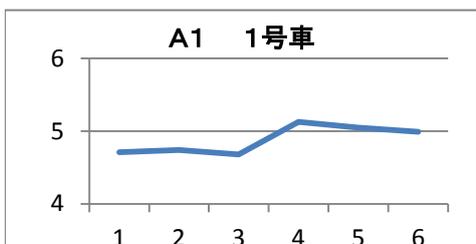
記録を取ってある2008年度以降の 燃費の変化をまとめてみました。途中 車輛や運転手の変更もあったせいか、あまり芳しいグラフにはなりませんでした。

【年間総走行距離 / 年間総燃料】

旧車輛使用
(車輛変更あり)

A:容器検査部 B:工事部 C:事務所

	車 輛	登録番号	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
			1	2	3	4	5	6	
軽	ニッサンディーゼル 1号車	静岡 130 さ 1967	4.7	4.7	4.7	5.1	5.1	5.0	A 1
	ニッサンディーゼル 2号車	静岡 100 さ 9532	6.2	6.2	6.2	6.8	6.3	6.4	A 2
	ニッサンディーゼル 3号車	静岡 100 す 6561	5.9	5.8	7.0	6.8	6.1	6.1	A 3
	キャラバン4台 平均		8.9	8.9	8.8	8.6	8.5	8.2	B 1
油	ニッサン キャラバ ン	静岡 400 つ 8456	8.5	8.2	8.8	8.2	7.9	7.6	
	ニッサン キャラバ ン	静岡 400 つ 6953	8.3	7.9	8.4	8.0	7.9	7.9	
	ニッサン キャラバ ン	静岡 400 て 7778	9.2	9.9	9.1	8.6	8.5	8.2	
	ニッサン キャラバ ン	静岡 400 ち 9316	9.5	9.6	8.8	9.5	9.8	9.3	
	トヨタ ダイナ 3t	静岡 400 つ 7022	7.1	8.6	7.9	8.1	8.1	7.7	B 2
ガ ソ リ ン	ガソリン車2台 平均		12.2	14.2	14.1	12.3	11.7	11.7	B 3
	ニッサン ADバン	静岡 400 て 1165	12.2	14.2	14.1	14.1	14.1	14.2	
	トヨタ プレヴィス	静岡 300 つ 1107	この期間 年間走行距離500km~ 1,000kmの為、計算から外しました。			10.4	9.3	9.2	
	スズキ スイフト	静岡 500 ゆ 9057	11.6	14.6	13.7	15.4	15.0	15.1	C 1
L P G	LPG車2台 平均		10.8	10.6	10.1	10.8	14.3	14.8	B 4
	日産 ティアナ	静岡 300 ほ 9538	8.4	10.5	8.9	8.6	16.3	13.5	
	トヨタ プロボックス	静岡 400 ち 5946	13.3	10.7	11.3	13.0	12.4	16.1	



環境活動レポート

平成25年度（2013/7-2014/6）

目 次

事業の概要・実施体制	1
環境経営システムの組織図	3
環境方針	4
中長期環境目標	5
短期環境目標と実績・評価	9
環境活動計画の取組結果	14
具体的な環境活動計画	15
環境活動の取組結果の評価	18
環境活動の取組計画	22
環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況	23
代表者による評価と見直し	24

【事業の概要・実施体制】

1. 事業所名及び代表者名

社名 不二高压株式会社
代表者 代表取締役 社長 新井 二郎

2. 対象範囲（本社）

〒421-0218 静岡県焼津市下江留437番地の16
TEL・054-622-1120(代) FAX・054-622-3487

3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者 村越 睦明
受付・事務担当者 石田 文子
連絡先 TEL・054-622-1120(代) FAX・054-622-3487
<http://www.zz-fujikoatsu.co.jp/>
E-mail・zz-jj@po4.across.or.jp

4. 事業の内容

「容器検査部」 高压ガス容器の再検査
「工事部」 高压ガス設備の点検・検査及び設計・施工(客先現場に出張業務となる)
高压ガス設備の法定検査、(貯槽、配管、機械精密検査)定期点検の施行
事業所の保安検査、設備の修理、管工事業、機械設置工事業の施行
液化石油ガス・タンクローリ用容器の法定再検査の施行
「事務所」 総務 経理 事務処理、書類作成

5. 事業の規模

法人設立 昭和45年 7月23日(創立 昭和40年1月)
資本金 1,000万円
決算期 期首 7月1日 期末6月30日
従業員 36人 (平成26年6月末現在は 40人)
敷地面積 14,321㎡
床面積 容器検査工場900.49㎡・タンクローリ検査工場440.15㎡
倉庫153㎡・事務所335.24㎡・休憩室105㎡

6. 活動規模

① 売上 期首 7月1日 期末 6月30日 単位 百万円

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総売上高	583	579	661	833
容器検査部	193	186	147	168
工 事 部	390	393	514	665

② 設備等の状況

- 「容器検査部」 定置検査設備一式(残ガス回収、耐圧検査、塗装他)小型容器280本/日
車 両(台) 7t車1・4t車2・3t車1・フォークリフト1
- 「工 事 部」 移動検査機器一式 (非破壊検査機器他KHK基準検査設備)3セット
設計施工関係 (キヤド等OAソフト機器、資材加工機器)1式
車 両(台) 検査専用貨物車4・営業車4(ガソリン車2:LPG車2)
- 「事務所」 パソコン 21台 プリンター 8台 コピー機 3台
車 両(台) 営業車1(ガソリン車)・・・スィフト(今回より対象車両変更)

7. 資 格(許認可・登録)

- 「容器検査部」 容器検査所の登録 :静岡県 平・23・10・1 防消防第44号の5
(50,000ℓ以下の液石及び液化天然ガス溶接容器で、TP5Mpa以下)
高圧ガス製造許可:静岡県 昭・56・1・16 消第88-10号
- 「工 事 部」 液化石油ガスプラント検査事業者認定(高圧ガス保安協会KP-18)
液化石油ガスタンクローリ検査事業者認定(高圧ガス保安協会KT-3)
指定保安検査機関の指定:(経済産業省)平成23.01.17原第3号)
指定保安検査機関の業務規程認可(経済産業省)平成23.01.17原第4号)
建設業の許可(管、機械設置工事)静岡県般-22第9549号平成22年11月
- 「環境関係」 エコアクション21 認証・登録番号 0002362 認証登録日 平成20年4月7日
産業廃棄物収集運搬業許可 第143883号(静岡県 平成25年8月22日)
25年度 実績なし

8. エコアクション21 対象範囲 本社 【10.環境経営システム組織図】参照

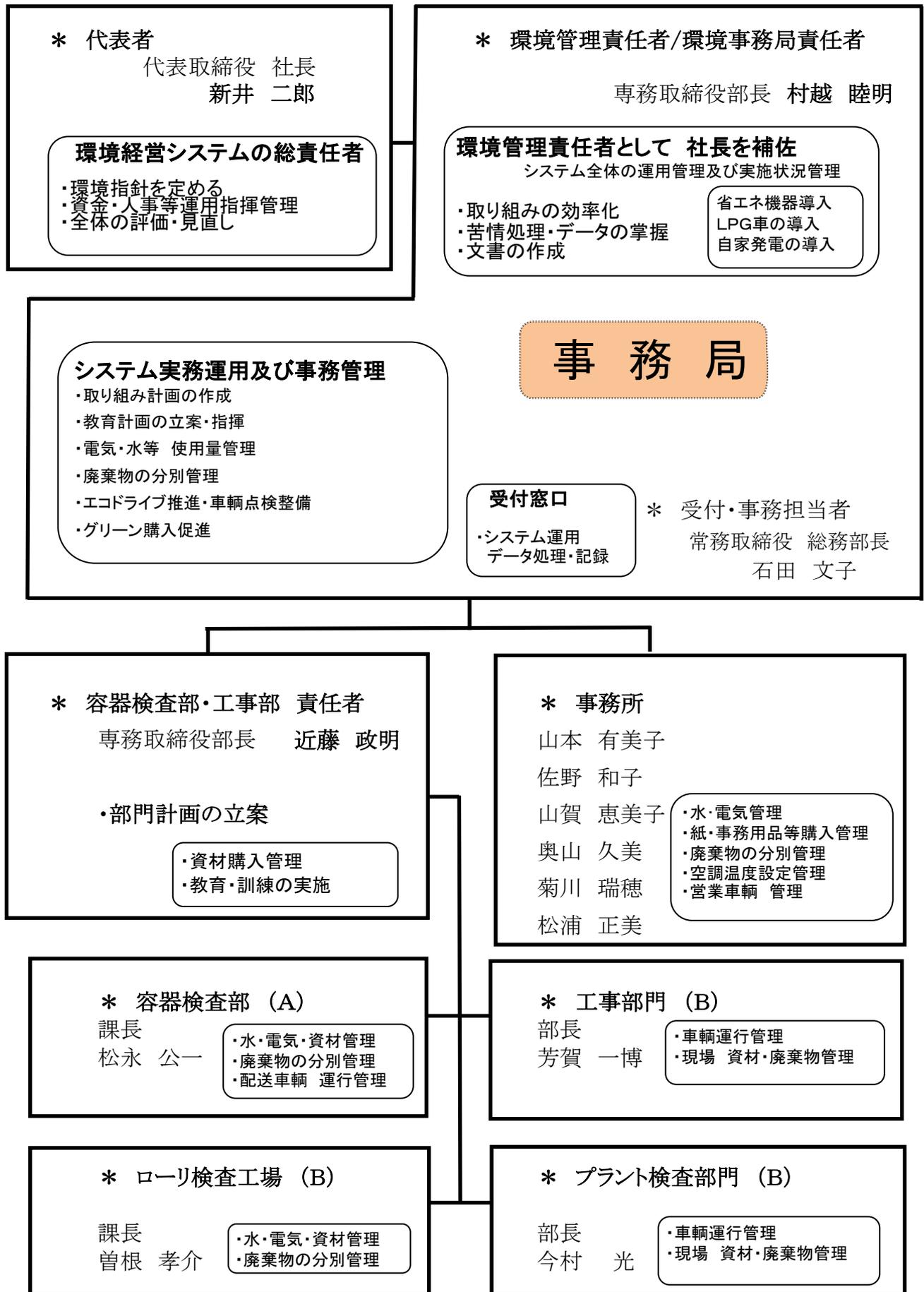
事業活動 高圧ガス容器の再検査
及び 高圧ガス設備の点検、設計、施工

9. レポートの対象期間 及び 発行年月日

対象期間 始 平成25年7月1日
至 平成26年6月30日

発行年月日 平成26年10月15日

実施体制



【環境方針】

「基本理念」

不二高压株式会社は、高压ガスの容器及び施設の検査、並びに高压ガス設備工事の事業を通して公共の保安の確保を目的に、地域社会にクリーンでかつ安心と安全を届け、地球にやさしく、快適な生活環境の構築に貢献します。

「活動方針」

1. 廃棄物削減の為、分別・リユース（再利用）、リデュース（減量）、リサイクル（再資源化）の徹底に努めます。
2. 資源エネルギーの有効利用の為、電力や車輛燃料・冷暖房の省エネルギー化に努め、CO₂ 排出量を削減します。
3. 水資源を守るため、総排水量の削減に努めるとともに、環境を守るために排水水質の管理を行います。
4. 化学物質の適正管理に努め、使用量を可能な限り削減するだけに留まらず、より人体や環境に優しい化学物質等への変更を検討します。
5. 資材・事務用品等の必要物品は「グリーン購入法」に基づき、環境配慮品の購入に努めます。
6. 関連する環境関連法を厳守し、地域の環境保全活動に積極的に参加し、自ら構内、周辺の環境保全に努めます。

本方針を全社員に教育し周知徹底するとともに、環境活動レポートを公表します。

制定年月日	平成19年	7月25日
改訂年月日	平成21年	8月1日
改訂年月日	平成22年	10月1日
改訂年月日	平成23年	12月1日
改訂年月日	平成25年	10月15日
改訂年月日	平成26年	10月15日

不二高压株式会社

代表取締役社長

新井 二郎

【中・長期環境目標】

総 合

(容器検査部・工務部・事務所)

平成25年度～平成27年度 (2013/7-2016/6)

① 二酸化炭素排出量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
二酸化炭素排出量		530,858.2	520,241.0	509,623.9	499,006.7
kg-CO ₂ %		100.0	98.0	96.0	94.0
購入電力	消費量 kWh	150,124.3	147,121.8	144,119.3	141,116.8
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
21～24年度平均 0.495(kg-CO ₂ /kWh)	排出量	74,311.5	72,825.3	71,339.1	69,852.8
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	75,450.0	73,941.0	72,432.0	70,923.0
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
	排出量	226,497.8	221,967.8	217,437.9	212,907.9
	%	100.0	98.0	96.0	94.0

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

軽油 燃費	容器検査部	1号車・2号車・3号車	車輛ごとの燃費削減を 目標とします
	工務部	キャラバン(検査車)4台	4台合計の燃費削減を 目標とします
ガソリン 燃費	工務部	ADバン・1107	2台合計の燃費削減を 目標とします
	事務所	スイフト	燃費削減を 目標とします
LPG車 燃費	工務部	LPG車2台	2台合計の燃費削減を 目標とします

② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項 目		平成24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	1.42	1.39	1.36	1.33
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
最終処分 廃棄物	t	13.98	13.70	13.42	13.14
	%	100.0	98.0	96.0	94.0

③ 総水使用量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
上水使用量	m ³	420.4	412.0	403.6	395.2
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
地下水使用量	m ³	9,067.1	8,613.7	8,160.4	7,707.0
	%	100.0	95.0	90.0	85.0

④ その他

- * 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- * グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【中・長期環境目標】

容器検査部

平成25年度～平成27年度（2013/7-2016/6）

① 二酸化炭素排出量

（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
二酸化炭素排出量		420,498.8	412,088.8	403,678.8	395,268.9
kg-CO ₂ %		100.0	98.0	96.0	94.0
購入電力	消費量 kWh	148,651.5	145,678.5	142,705.4	139,732.4
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
21～24年度平均 0.495(kg-CO ₂ /kWh)	排出量	73,582.5	72,110.8	70,639.2	69,167.5
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	75,450.0	73,941.0	72,432.0	70,923.0
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
	排出量	226,497.8	221,967.8	217,437.9	212,907.9
	%	100.0	98.0	96.0	94.0

* 残ガスの単純燃焼を減らすよう、対策を考える。

（目標設定は24年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
軽油 燃費	1号車	5.05	5.15	5.25	5.35
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
	2号車	6.26	6.39	6.51	6.64
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
	3号車	6.07	6.19	6.31	6.43
	%	100.0	98.0	96.0	94.0

② 廃棄物排出量

（目標設定は24年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	0.15	0.15	0.14	0.14
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
最終処分 廃棄物	t	13.76	13.48	13.21	12.93
	%	100.0	98.0	96.0	94.0

* 単純焼却の廃棄物は、塗料カス(産廃)

③ 給水使用量

（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
上水使用量	m ³	193.1	189.2	185.4	181.5
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
地下水使用量	m ³	9,067.1	8,613.7	8,160.4	7,707.0
	%	100.0	95.0	90.0	85.0

④ その他

* 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。

* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【中・長期環境目標】

工事部(社外作業)

平成25年度～平成27年度 (2013/7-2016/6)

① 二酸化炭素排出量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
二酸化炭素排出量	56,166.8	55,043.5	53,920.1	52,796.8
kg-CO ₂ %	100.0	98.0	96.0	94.0

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
軽油 燃費	8.39	8.56	8.73	8.89
キャラバン4台	100.0	98.0	96.0	94.0
ガソリン 燃費	11.93	12.17	12.41	12.65
ADバン・1107	100.0	98.0	96.0	94.0
LPG車 燃費	8.18	8.34	8.51	8.67
2台	100.0	98.0	96.0	94.0

② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
単純焼却	0.51	0.50	0.49	0.48
廃棄物	100.0	98.0	96.0	94.0
最終処分	0.22	0.22	0.21	0.21
廃棄物	100.0	98.0	96.0	94.0

④ その他

- * 総水使用量・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- * 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- * グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【中・長期環境目標】

事務所

平成25年度～平成27年度（2013/7-2016/6）

① 二酸化炭素排出量

（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
二酸化炭素排出量		54,192.6	53,108.7	52,024.9	50,941.0
kg-CO ₂ %		100.0	98.0	96.0	94.0
購入電力	消費量 kWh	1,472.8	1,443.3	1,413.9	1,384.4
	%	100.0	98.0	96.0	94.0
21～24年度平均 0.495(kg-CO ₂ /kWh)	排出量	729.0	714.5	699.9	685.3
	%	100.0	98.0	96.0	94.0

（目標設定は24年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
ガソリン 燃費	スイフト	15.02	15.32	15.62	15.92
		100.0	98.0	96.0	94.0

② 廃棄物排出量

（目標設定は24年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
単純焼却	t	0.76	0.74	0.73	0.71
廃棄物	%	100.0	98.0	96.0	94.0

③ 総水使用量

（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成25年度 目標	平成26年度 目標	平成27年度 目標
上水使用量	m ³	227.3	222.8	218.2	213.7
	%	100.0	98.0	96.0	94.0

④ その他

* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

【短期環境目標と実績・評価】

平成25年度

総合

(容器検査部・工事部・事務所)

① 二酸化炭素排出量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ %	530,858.2 100.0	520,241.0 98.0	537,862.2 101.3	×
購入電力 <small>21～24年度平均 0.495(kg-CO₂/kWh) 25年度* 0.513(kg-CO₂/kWh)</small>	消費量 kWh %	150,124.3 100.0	147,121.8 98.0	×
	排出量 %	74,311.5 100.0	72,825.3 98.0	
残ガス燃焼	燃焼量 kg %	75,450.0 100.0	73,941.0 98.0	×
	排出量 %	226,497.8 100.0	221,967.8 98.0	

25年度 * 0.513(kg-CO₂/kWh) 中部電力HP 二酸化炭素排出量の推移 2013年度 による。

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
軽油 燃費	容器検査部 1号車	5.05	5.15	4.99	×
	容器検査部 2号車	6.26	6.39	6.43	○
	容器検査部 3号車	6.07	6.19	6.11	×
	工事部	8.39	8.56	8.17	×
ガソリン 燃費	工事部	11.93	12.17	12.19	○
	事務所	15.02	15.32	15.07	×
LPG車 燃費	工事部	8.18	8.34	9.82	○

② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
単純焼却 廃棄物	t	1.42	1.39	1.45	×
	%	100.0	98.0	102.1	
最終処分 廃棄物	t	13.98	13.70	36.60	×
	%	100.0	98.0	261.8	

* 単純焼却の廃棄物には、工場から出る塗料カス(産廃)を含む。(残ガス燃焼は含まず)

③ 総水使用量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
上水使用量	m ³	420.4	412.0	359.0	○
	%	100.0	98.0	85.4	
地下水使用量	m ³	9,067.1	8,613.75	7,369.60	○
	%	100.0	95.0	81.3	

【短期環境目標と実績・評価】

平成25年度

容器検査部-1

① 二酸化炭素排出量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項 目	平成21～24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
二酸化炭素排出量	420,498.8	412,088.8	436,991.8	×
kg-CO ₂ %	100.0	98.0	103.9	
購入電力	消費量 kWh	148,651.5	145,678.5	×
	%	100.0	98.0	
21～24年度平均 0.495(kg-CO ₂ /kWh)	排出量	73,582.5	80,544.1	
25年度 0.513(kg-CO ₂ /kWh)	%	100.0	105.6	
残ガス燃焼	燃焼量 kg	75,450.0	73,941.0	×
	%	100.0	98.0	
	排出量	226,497.8	227,983.9	
	%	100.0	100.7	

【コメント】	
二酸化炭素排出量	容器検査本数が 前年比40%増(24年度36,686本・25年度51,830本)ということもあるが、21年度～24年度平均が57,005本なので、けて良い数字ではない。工場の無駄な稼働がないか、その点を今後考える必要がある。
購入電力	同 上
残ガス燃焼	大型のバルク容器の廃棄が増えているので、残ガスも増加している。今後は残ガスの有効利用を検討する必要がある。

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項 目	平成24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
軽油 (燃費)	1号車	5.05	5.15	×
		100.0	98.0	
	2号車	6.26	6.39	○
	100.0	98.0	97.4	
3号車	6.07	6.19	6.11	×
	100.0	98.0	99.3	

評価		【コメント】
軽油 (燃費)	1号車	容器の積載量が増えていることと、車輛の老朽化も原因と思える。今後も無駄なアイドリング等をやめ、エコ運転に努めるよう指導する。
	2号車	1月に 運転手が変わったことにもよるかと思う。
	3号車	容器の積載量が増えていることと、車輛の老朽化も原因と思える。今後も無駄なアイドリング等をやめ、エコ運転に努めるよう指導する。

【短期環境目標と実績・評価】

平成25年度

容器検査部-2

② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目		平成24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t	0.15	0.15	0.00	○
	%	100.0	98.0	0.0	
最終処分 廃棄物	t	13.76	13.48	35.65	×
	%	100.0	98.0	259.1	

* 単純焼却の廃棄物は、工場から出る塗料カス(産廃)

【コメント】	
単純焼却 廃棄物	塗装機械を有機塗装から粉体塗装に変えたことにより、塗料カスがほとんどでなくなったため。
最終処分 廃棄物	5月に 油水分離槽を修繕し、10年以上ぶりに汚泥を回収したため、廃棄物が増えました。耐圧検査前後の、容器洗浄時の泥汚れ等は、今回通路をアスファルト化したことにより、今後はある程度は削減できるものと思う。

③ 総水使用量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項目		平成21～24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
上水使用量	m ³	193.1	189.2	179.5	○
	%	100.0	98.0	93.0	
地下水使用量	m ³	9,067.1	8,613.7	7,369.6	○
	%	100.0	95.0	81.3	

【コメント】	
上水使用量	水の使用に対する意識の向上と、耐圧機械を新しくしたことによる効果があると思う。
地下水使用量	水の使用に対する意識の向上と、耐圧機械を新しくしたことによる効果があると思う。

【短期環境目標と実績・評価】

平成25年度

工事部(社外作業)

① 二酸化炭素排出量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ %	56,166.8 100.0	55,043.5 98.0	54,816.5 97.6	○

(目標設定は24年度実績を基準＝100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
軽油 燃費 キャラバン 4台	8.39 100.0	8.56 98.0	8.17 102.7	×
ガソリン 燃費 ADバン・ 1107	11.93 100.0	12.17 98.0	12.19 97.9	○
LPG車 燃費 2台	8.18 100.0	8.34 98.0	9.82 83.3	○

【コメント】	
二酸化炭素 排出量	全体的には、節約の意識が上がってきていると思う
軽油 燃費 キャラバン 4台	車両の老朽化(26/6 1台更新)と、昨年は夏場のクーラーの使用が多かったためと思う。
ガソリン 燃費 ADバン・ 1107	今後もエコ運転に努める。
LPG車 燃費 2台	今後もエコ運転に努める。

② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準＝100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
単純焼却 廃棄物	t %	0.51 100.0	0.50 98.0	0.61 119.6	×
最終処分 廃棄物	t %	0.22 100.0	0.22 98.0	0.41 186.4	×

【コメント】	
単純焼却 廃棄物	分別の徹底を図る。
最終処分 廃棄物	規制が厳しくなり、リユース及びリサイクルがなかなかできない状況の中、もう一度廃棄物の中身を見直して、出来る限りリユース・リサイクルしていく必要がある。

【短期環境目標と実績・評価】

平成25年度
事務所

① 二酸化炭素排出量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ %	54,192.6 100.0	53,108.7 98.0	46,054.0 85.0	○	
購入電力 <small>21～24年度平均 0.495(kg-CO₂/kWh) 25年度 0.513(kg-CO₂/kWh)</small>	消費量 kWh	1,472.8	1,443.3	1,586.0	×
	%	100.0	98.0	107.7	
	排出量	729.0	714.5	813.6	
	%	100.0	98.0	107.7	

(目標設定は24年度実績を基準＝100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
ガソリン 燃費	スィフト	15.02 100.0	15.32 98.0	15.07 99.7	×

【コメント】	
二酸化炭素排出量	対象車両を LP車2台から、ガソリン車1台に 変更したことによる。
購入電力	昨年4月より、2階を事務所として、常時(特に残業時間)使用するようになったことが、原因と思われる。
ガソリン 燃費	スィフト 若干は燃費が良くなっているが、目標には届かなかった。今後もエコ運転に努める。6月末に アイドリングストップのついた車両に更新したので、今後期待したい。

② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準＝100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
単純焼却 廃棄物	t %	0.76 100.0	0.74 98.0	0.84 110.5	×

【コメント】	
単純焼却 廃棄物	分別が少し甘くなっているのかもしれない。今後も啓蒙に努める。

③ 給水使用量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成25年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
上水使用量	m ³ %	227.3 100.0	222.8 98.0	179.5 79.0	○

【コメント】	
上水使用量	節水の意識が全体に広まった効果と思える。

【 環境活動計画の取組結果 】

平成 25 年度 (2013/7-2014/6)

容器検査部

取組項目		取組計画												
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
①	電気使用量の削減	担当者												
	* 照明灯管理	工場	鈴木						大掃除					明り取り天窓の設置
			松永						大掃除			照明器具の配置:LED検討		
	* 圧縮機の運転	工場	松永・鈴木	毎日の点検リスト作製				点検	大掃除					点検
	* 搬送コンベアー							点検	大掃除					点検
* ショットブラスト							点検	大掃除					点検	
* 真空ポンプ							点検	大掃除					点検	
化石エネルギーの削減	担当者													
* 運転計画の合理化	配送	増田	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール					
* エコ運転の実施	配送	増田	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール					
* 過積載禁止	通勤時	村越	通勤経路 確認			安全運転コンクール			安全運転コンクール					
* 車両整備													構内 舗装	
②	廃棄物の抑制	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 排出量の削減	工場	松永	分別ポスター掲示										
	* 生産資材の節約	工場	松永						在庫確認					在庫確認
	リサイクルの推進		松永	分別ポスター掲示										
	廃棄物処理の確認		松永	分別ポスター掲示										
③	総排水量の削減	工場	鈴木	漏水点検				チェックシール掲示	タンク更新					
④	化学物質の適正管理	工場	松永					有機検診	在庫確認					有機検診 在庫確認
⑤	グリーン購入品目の活用		佐野											

工事部 (社外作業)

取組項目		取組計画												
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
①	電気使用量の削減	担当者												
	* 照明	工事部	芳賀											
	電動機・電動工具		小林											
	化石エネルギーの削減	担当者												
	* 運転計画の合理化	工事部	近藤	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール				
* エコ運転の実施	工事部	芳賀	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール					
* アイドリング抑制		小林	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール					
* 車両整備	工事部	今村												
②	廃棄物の抑制	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 排出量の削減	工事部	芳賀	分別ポスター掲示										
			小林	分別ポスター掲示										
	* 生産資材の節約	工事部	近藤				合同購入の検討	在庫確認						在庫確認
	リサイクルの推進		芳賀	分別ポスター掲示										
	廃棄物処理の確認		近藤	分別ポスター掲示										
③	総排水量の削減	工事部												
④	化学物質の適正管理	工事部	近藤						在庫確認					在庫確認
⑤	グリーン購入品目の活用		山本											

事務所

取組項目		取組計画												
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
①	電気使用量の削減	担当者												
	* 空調 温度設定	事務所	山本	28度に設定・管理			20度に設定・管理							
	* 照明 (テレビ)		佐野	28度に設定・管理			20度に設定・管理							
			喫煙室	増田	28度に設定・管理			20度に設定・管理						
化石エネルギーの削減	担当者													
* エコ運転の実施	事務	村越	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール					
* アイドリング抑制	通勤時	村越	通勤経路 確認			安全運転コンクール			安全運転コンクール					
②	廃棄物の抑制	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	* 排出量の削減	事務所	山本	分別ポスター掲示										
	* 生産資材の節約	事務所	山本	エコ文具 検討					在庫確認					在庫確認
	リサイクルの推進		山賀	分別ポスター掲示										
	廃棄物処理の確認													
③	総排水量の削減		佐野	漏水点検				チェックシール掲示						
④	化学物質の適正管理													
⑤	グリーン購入品目の活用		山本											

【具体的な環境活動計画】 平成25年度

容器検査部

① 「二酸化炭素排出の削減」

責任者

電気の使用量を削減する

- * 不要電力をカットする 工場・倉庫

照明・換気扇・電動機・電道工具・外灯の全電源を対象とする。 松永公一、鈴木千秋

工場壁面に 明かり取り用の窓をつくる 26/5

休憩室屋根に 遮熱塗料を塗装 26/6

クーラーの設定温度を下げる事が期待できる。



- * 省エネルギー化に努力する。

省エネ機器の購入・自家発電・クールビズ・ウォームビズ
を奨励

松永公一

夏場の遮光カーテン・グリーンカーテンの利用

燃料の使用量を削減する。

- * エコドライブの周知徹底と実行する。
- * 車両の効率的運行及び車両整備を実施する。
- * 消費燃料の状況を把握する。タコグラフで走行状況を把握。

増田佳和

増田佳和

村越睦明

② 「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- * 残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
- * スクラップ容器のマニフェストを管理する。

松永公一、鈴木千秋

佐野 和子

③ 「水の使用量削減」

- * 節水（検査用水・洗車用水）に努める。
- * 水漏れ点検の実施
- * 雨水の利用・検査用水のリサイクルの実施
- * 構内をアスファルト舗装 26/6

鈴木千秋

容器の泥汚れが減り、洗浄用の水を削減を期待できる



④ 「化学物質の適正管理」（塗料・シンナー）

松永公一

- * 少量であっても保管時・使用時共に法的取扱に基づく
エチルベンゼンの有機溶剤検診 開始 25/12
(C-11キシレン・C-37トルエンに 新たに加える)年 2回実施
油水分離槽の清掃 メタンガス感知装置の設置



⑤ 「グリーン購入法該当商品の優先的活用」

佐野 和子

【具体的な環境活動計画】 平成25年度 工事部（社外作業）

① 「二酸化炭素排出の削減」

責任者

電気の使用量を削減する。

- * 不要電力をカットする（倉庫・工事現場）

照明・電動機・電道工具等の使用時に節電に努力する。 芳賀一博、小林徳充

燃料の使用量削減

- * エコドライブの周知徹底と実行
- * 車両の効率的運行及び車両整備を実行する。
- * 消費燃料の状況を把握する。

近藤政明

芳賀一博

村越睦明

② 「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- * 残資材、缶、瓶、紙の分別を徹底して行う。
- * マニフェストを管理する。

芳賀一博、小林徳充

近藤政明



③ 「水の使用量削減」

- * 洗車用水・検査用水等の 節水に努力する。

芳賀一博、小林徳充

④ 「化学物質の適正管理」 （塗料・シンナー）

近藤政明

- * 少量であっても保管時・使用時共に法的取扱に基づく

⑤ 「グリーン購入法該当商品の優先的活用」

近藤政明

【具体的な環境活動計画】 平成25年度

事務所

「二酸化炭素排出の削減」

責任者

① 電気の使用量を削減する

- * 不要電力をカット(事務所 休憩室)
照明・換気扇・テレビ等電源管理を 徹底する。

山本有美子、山賀恵美子

- * 省エネルギー

山本有美子、山賀恵美子

冷暖房の室温管理 (冬20℃、夏28℃) 指定温度を守る。

事務所1階 GHP (クーラー)を 更新 性能の向上 26/2

燃料の使用量削減

村越睦明

- * エコドライブの周知徹底と実行

車輛更新 アイドリングストップ車輛に変更 26/6

スズキ スイフト ⇒ ニッサンノート

- * 消費燃料の状況を把握する。



② 「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

山本有美子、山賀恵美子

- * 残資材、缶、瓶、紙の分別を徹底して行う。
- * コピー用紙の両面使用を実行する。

③ 「水の使用量削減」

- * 節水 (事務所、休憩室、花壇散水)
- * 水漏れ点検の実施
- * 雨水の利用を検討する。

佐野和子、山本有美子

村越睦明

村越睦明

⑤ 「グリーン購入法該当商品の優先的活用」

- * 事務所での必要資材調達時に活用する。

山本有美子、山賀恵美子



焼却ごみと 産廃を分別



グリーンカーテン

今年はゴーヤ、
いんげん・きゅうり
あさがお・ふうせんかずら

【環境活動の取組結果の評価】

平成 25 年度

評価 担当者	村越 睦明
評価 年月日	平成 26 年 10 月 14 日

総 合

平成25年7月～平成26年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1. 電気使用量の削減	×	工場の稼働が多かったためと、事務所2階を工事部の事務所として使用し始めた為、工事部は残業も多いため、電気の使用量が増え	工場北側及び西側上部壁面に採光用の窓を更新した。今後は工場及び事務所2階のLED化に取り組む。
2. 化石エネルギーの削減	×	行先・日数等により車両燃費の違いが見える。	エコドライブの啓蒙方法を検討し、意識の向上を図る。
3. 廃棄物の抑制	×	油水分離槽の清掃を 10数年ぶりに実施したため、汚泥が多量に発生した。	周知と実行を継続する。廃棄物の中に、リサイクルできるものがないか、常に考えるよう習慣づける。
4. 化学物質の適正管理	○	エチルベンゼンの環境測定	作業環境に適した環境測定を進める。
5. グリーン購入品目の活用	○		グリーン購入品目の開拓と、積極的な活用を実行する。
6. リサイクルの推進	○	分別収集箱の管理	周知と実行を継続する。廃棄物の中に、リサイクルできるものがないか、常に考えるよう習慣づける。
7. 廃棄物処理の確認	○		周知と実行を継続する。管理を怠らないこと。
8. 総排水量の削減	○	使用量管理のため、メーター点検を実施し、異状のないように管理する必要がある。	メーター管理等、さらに一層の改善計画を立てる。

総 評

少しずつですが、意識の向上が結果に反映されてきています。

今後も、法規制の遵守と共に、『環境・社会』に於いて企業の責任を意識した運営をしていきます。

【環境活動の取組結果の評価】

平成 25 年度

評価 担当者	近藤 政明
評価 年月日	平成 26 年 10 月 8 日

容器検査部

平成25年7月～平成26年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1. 電気使用量の削減	×	工場の稼働率が多くなると、どうしても電気の使用量が増加してしまう。	今後は工場照明の LED化 照明の位置等を 検討する
2. 化石エネルギーの削減	×	検査容器内の残ガスの燃焼(廃棄処理)によるものが必ず生じるため、検査本数が増えると残ガス燃焼量も増えてしまう。	客先への残ガス量の削減の依頼、配送車等のエコ運転の徹底等検討する。1台ごとの燃費確認
3. 廃棄物の抑制	×	油水分離槽の清掃を 10数年ぶりに実施したため、汚泥が多量に発生した。	今後も分別に努め、削減に努める。リユース・リデュース・リサイクル品の再確認をする。
4. 化学物質の適正管理	○	エチルベンゼンの対策を考える	管理状況を常に確認する。
5. グリーン購入品目の活用	○		グリーンマークの確認
6. リサイクルの推進	○		今後も分別に努める。
7. 廃棄物処理の確認	○		排出業者との打合せを密にする。
8. 総排水量の削減	○		23年度 設備更新 更に節水に努める。

総 評

今年も、配送トラックによる軽油の削減のために、夏場の配送車を3台から2台に減らし、配送ルートの合理化を図りました。一層の配送の合理化、エコ運転の教育等を検討します。

【環境活動の取組結果の評価】

平成 25 年度

評価 担当者	近藤 政明
評価 年月日	平成 26 年 10 月 8 日

工事部(社外作業)

平成25年7月～平成26年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1. 電気使用量の削減	—	社外作業のため 集計なし	常に節電に努める
2. 化石エネルギーの削減	△	ここ数年 夏場が異常に暑いこと で車両のエアコンの使用量・ 使用期間が増えているためと 思う。	アイドリングストップ、無駄な積 載物の削減に及び、燃費の良い 天然ガス車の購入等を検討 します。
3. 廃棄物の抑制	×	分別に徹底がまだ不十分である。	分別をより徹底する。資材もリ サイクル処理できるものを選ぶ ように工夫する。
4. 化学物質の適正管理	○		管理状況を常に確認する。
5. グリーン購入品目の活用	○		グリーンマークの確認
6. リサイクルの推進	○		朝礼等での意識向上を図る
7. 廃棄物処理の確認	○		排出業者との打合せを密にする。
8. 総排水量の削減	—	社外作業のため 集計なし	常に節水に努める

総 評

今後も、ガソリン・軽油の削減を重点にし エコ運転の取り組みを強化します。社外
においては、常に環境意識を持ち、省エネルギー・省資源・廃棄物の適正処理等
に努めるよう、指導します。

【環境活動の取組結果の評価】

平成 25 年度

評価 担当者	石田 文子
評価 年月日	平成 26 年 10 月 9 日

事務所

平成25年7月～平成26年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1. 電気使用量の削減	×	夏場暑くて、エアコンの使用時間が増えたことと、2階の一部を工事部の事務所として使用するようになり(25/4)、電気の使用量が増えたと考える。	事務所1階の照明のLED化を24年8月に実施しました。2階の照明のLED化も検討する。
2. 化石エネルギーの削減	×		エコ運転の実施。通勤車両のエコ運転意識の向上のための啓もう活動。
3. 廃棄物の抑制	×		分別の徹底に努めます。
4. 化学物質の適正管理		なし	
5. グリーン購入品目の活用	○		グリーンマークの確認、事務用電化製品(パソコン・プリンター・シュレッダー等)
6. リサイクルの推進	○		朝礼等での意識向上を図る
7. 廃棄物処理の確認	○		排出業者との打合せをする。マニフェストの管理。
8. 総排水量の削減	○		台所の水道蛇口を、交換する。

総 評

電気・ガソリン・廃棄物の削減目標の達成に努めます。

【 環境活動の取組計画 】

平成 26 年度 (2014/7-2015/6)

容器検査部

取組項目		取組計画													
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
①	電気使用量の削減	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	* 照明灯管理	工場	鈴木					大掃除							
			松永					大掃除							
	* 圧縮機の運転	工場	松永・鈴木					点検	大掃除					点検	
	* 搬送コンベアー							点検	大掃除					点検	
	* ショットブラスト							点検	大掃除					点検	
* 真空ポンプ							点検	大掃除					点検		
化石エネルギーの削減	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
* 運転計画の合理化	配送	増田	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール			安全運転コンクール			
* エコ運転の実施	配送	増田	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール			安全運転コンクール			
* 過積載禁止	通勤時	村越	通勤経路 確認			安全運転コンクール			安全運転コンクール			安全運転コンクール			
* 車両整備			毎朝 乗車前点検												
②	廃棄物の抑制	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	* 排出量の削減	工場	松永	分別ポスター掲示											
	* 生産資材の節約	工場	松永					在庫確認						在庫確認	
	リサイクルの推進		松永	分別ポスター掲示											
廃棄物処理の確認		松永	分別ポスター掲示												
③ 総排水量の削減	工場	鈴木	漏水点検				チェックシール掲示	集計							
④ 化学物質の適正管理	工場	松永					有機検診	在庫確認					有機検診 在庫確認		
⑤ グリーン購入品目の活用		佐野													

工事部 (社外作業)

取組項目		取組計画													
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
①	電気使用量の削減	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	* 照明	工事部	芳賀												
	* 電動機・電動工具		小林												
	化石エネルギーの削減	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	* 運転計画の合理化	工事部	近藤	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール			安全運転コンクール		
	* エコ運転の実施	工事部	芳賀	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール			安全運転コンクール		
* アイドリング抑制	小林		車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール			安全運転コンクール			
* 車両整備	工事部	今村	毎朝 乗車前点検												
②	廃棄物の抑制	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	* 排出量の削減	工事部	芳賀	分別ポスター掲示											
			小林	分別ポスター掲示											
	* 生産資材の節約	工事部	近藤				合同購入の検討	在庫確認						在庫確認	
リサイクルの推進		芳賀	分別ポスター掲示												
廃棄物処理の確認		近藤	分別ポスター掲示												
③ 総排水量の削減	工事部														
④ 化学物質の適正管理	工事部	近藤						在庫確認					在庫確認		
⑤ グリーン購入品目の活用		近藤													

事務所

取組項目		取組計画													
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
①	電気使用量の削減	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	* 空調 温度設定	事務所	山本	28度に設定・管理			20度に設定・管理			20度に設定・管理			20度に設定・管理		
	* 照明(テレビ)		休憩室	佐野	28度に設定・管理			20度に設定・管理			20度に設定・管理				
			喫煙室	増田	28度に設定・管理			20度に設定・管理			20度に設定・管理				
化石エネルギーの削減	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
* エコ運転の実施	事務	村越	車両別集計			安全運転コンクール			安全運転コンクール			安全運転コンクール			
* アイドリング抑制	通勤時	村越	通勤経路 確認			安全運転コンクール			安全運転コンクール			安全運転コンクール			
②	廃棄物の抑制	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	* 排出量の削減	事務所	山本	分別ポスター掲示											
	* 生産資材の節約		山本	エコ文具 検討			在庫確認			在庫確認			在庫確認		
	リサイクルの推進		山賀	分別ポスター掲示											
廃棄物処理の確認															
③ 総排水量の削減		佐野	漏水点検				チェックシール掲示								
④ 化学物質の適正管理															
⑤ グリーン購入品目の活用		山本													

【環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況】

当社に適用される環境関連法規への対応、遵守の状況は、次のとおりです。

法 規 名	適 用 対 象	取得年月日	対 応 事 項	法規及び遵守の確認
高圧ガス保安法	残ガス回収	S56. 1.16	保安検査	平成25年10月18日
高圧ガス保安法	容器検査所	H23. 9.22	登録申請	平成23年9月30日
高圧ガス保安法	指定保安検査機関	H23. 1.13	再認定申請	平成23年2月1日
消防法	塗料庫	S57.10.28	確認検査	平成23年2月18日
労働安全衛生法	マーキング	H 8.11.14	エチルベンゼン環境測定	平成26年8月29日
労働安全衛生法	従業員	S45. 7.23	健康診断	平成26年6月5日
労働安全衛生法	ショットブラスト	H21. 8.12	定期自主検査	平成26年5月30日
水質汚濁防止法	耐圧設備	H20. 2.22	水質検査業者委託	平成26年3月4日
浄化槽法	事務所、休憩室	S62. 4.13	保守点検業者委託	平成26年6月5日
グリーン購入法	事務所	H13. 4. 1	コピー機更新購入	平成23年3月30日
廃棄物処理法	工事	H20. 8.22	業者委託契約	平成26年6月20日
PRTR法	工場	H14. 7. 2	排出量及び移動量の確認	平成26年8月30日
廃棄物処理法	ショットブラスト	H17. 2.17	業者委託契約	平成26年9月11日
廃棄物処理法	事務所	H20. 8.22	業者委託契約	平成26年4月15日
騒音規制法	工場	S59. 7. 6	定期自主検査	平成26年8月30日
振動規制法	工場	S59. 7. 6	定期自主検査	平成26年6月20日
悪臭防止法	工場	S59. 7. 6	環境測定業者委託	平成26年3月7日
静岡県地下水の採取に関する条例	工場	S56. 5.26	地下水採取報告書	平成26年1月8日
建設業法	工事	H22.10. 6	更新許可申請	平成22年11月15日
自動車リサイクル法	社有車	H17. 1.	リサイクル料金	平成23年3月3日
計量法	工事	H21. 6. 4	確認検査	平成22年9月8日
高圧ガス保安協会認定	プラント・ローリ	H23.11. 4	再認定申請	平成24年1月5日

環境関連法規の確認

当社の事業に係る、関連法規等における義務、責任の中で苦情、違反及び訴訟等は、3年間なかったことを報告します。

平成26年9月30日 確認

確認者 環境担当事務局 村越睦明

【 代表者による評価と見直し 】

評価

作業範囲における路面の舗装を6月に完成させて、構内舗装は全て終了しました。このことにより事務所、工場内の床面への土泥の運び込みがなくなり清潔が保てるようになり、構内の産廃置場も整然となり、産廃は減少しその分別はさらに進み完璧になりました。

また、LPガス容器を再検査するに当たり容器内に残っているLPガスを回収する時に分離される着臭剤の処理が装置の老朽化で、完全には処理出来なかったため、その装置も10月に更新し臭気を燃焼機に導き処理出来るように改善しました。これにより外部への臭気が漏れるようなことがなくなりました。

これらは社員が常に作業環境の整備と資機材の管理を向上させ不要なものを排除し、設備を絶えず健全な状態で運転できるようにする意志の結果と評価しております。

見直し

廃棄物の削減・資源エネルギーの有効利用・省エネの工夫、無駄の削除、環境の保護など、まだまだ取り組める余地はあると思います。

今後は特に、残ガスの有効利用、水資源の有効利用(雨水等)、自然エネルギーの活用(太陽・風力等)等、少しずつでも工夫し、取り組んでいきたいと思っております。

平成 26 年 10 月 15 日

不二高压株式会社

代表取締役社長

新井 二郎